



協会だより

Japan Tourism Facilities Association



No.56

4月

発行 / 社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2006年4月1日

新年度に想う

副会長 平田 純一

1. 点から面へ

新宿駅西口のコンコースに、3月はカナダの政府観光局や州の観光局の各種ポスターが、丸柱・角柱といわず壁面まで所狭しとばかりに貼り出されていた。

いずれも景観写真が主体で、僅かばかりのPRロゴが入ったものですが、これを眺めていると、いくら来訪を言葉で表現しても、視覚に訴えるPRにはかなわないと思うと同時に、このような景観が日本にどれだけあるかということが頭をかすめた。

すでに世界はとっくに点から面の時代になっているが、日本はホテルや旅館などの点にまだ重点が置かれているために、遅れをとっているのではないだろうか。

幸い昨年6月、いわゆる景観緑三法が施行され、やっと面へと動き出したが、当協会にとってもこれは喜ばしいことで、ホテル・旅館の整備の分野から、それを含む面への調査・研究へと向かうことになるだろう。

2. 観光難民

新聞は、万一首都圏で直下型地震が起こったら、帰宅難民が大量に発生するという報道をしているので、そのような場合、どこを歩いて帰ることができるか、それに備えて帰宅地図も売れているという。

当協会の村尾会長は、そのような時、帰宅難民も出るだろうが、外国から東京に来ている商用客を含む

観光客は、帰宅難民以上に大変な難儀をするだろうということで、観光難民対策も樹てるべきだと主張されている。観光交流空間の調査・研究をしている当協会としては、当然考えなければならないことで、この方面の意見も積極的に発信して行かなければならないでしょう。

3. 観光立国基本法

東京オリンピックの前年1963年に議員立法で制定された観光基本法が、観光立国に向けて改正の動きが出てきた。観光の基本になる法律で今後の審議がどうなるか不明ですが、いずれにしても改正されるでしょう。当然これは基本法ですから具体的にはそれに基づいた法律が抜本的に改正され、観光に関する諸々の動きがでてくるはずで、当協会の活躍の場は一層拡大することになるでしょう。

4. 急務の会員増強

以上のことを考えますと、従来の会員の範囲内だけでは調査・研究に限界があり、ランドスケープ、庭園、文化財、土木など、協会にとって新しい分野の方々にも多く参加して頂き、新しい視点から協会の活動に参画して頂く必要があると思います。

今年度はそのような方々に多く参加して頂いて、更に一層頼りになる協会にしていきたいと考えています。会員各位からも、この分野の方々にお声をかけて頂ければ幸いです。

平成18年度の通常総会と関連行事 お知らせ

平成18年度の通常総会および関連行事の概要が決まりました。会場の自由学園・明日館は創立者羽仁吉一・もと子夫妻により大正10年に建設された校舎で、F・L・ライトとその弟子の遠藤 新の設計による建物です。

平成9年に国の重要文化財に指定され、平成11年から13年にかけて国および東京都の補助による保存・修理工事が行われました。総会後に明日館の保存・修理についてのセミナーと重要文化財でありながら実際に使いながら保存する「動態保存」のモデルとして運営されている施設を見学していただきます。

詳細は別途ご案内いたしますので是非ご参加ください。

日時 平成18年6月15日(木)13時30分～19時30分

場所 自由学園 明日館

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-31-3

TEL03-3971-7535

スケジュール(予定)

・通常総会(講堂)	13時30分～15時
・セミナー(同上)	15時30分～17時
・見学会 (ホール・食堂・大教室など)	17時00分～17時30分
・情報交歓会 (ホール・食堂)	17時30分～19時30分

合同会議報告

2月22日に会長、副会長、常務理事、委員長・部長・分科会長による合同会議が開催され平成18年度の各部門の事業活動計画が発表されました。その概要は以下の通りです。

4月18日の会議で調整を図ったうえ実施されます。

交流3部会(建築・設備・インテリア)会員相互の交流促進のため施設見学会を従来の宿泊施設に限定せず、観光施設を広く捉え対象を選定実施します。

旅館観光地分科会「温泉のまちづくり」フォーラムの新候補地での実施、17年度提案した鬼怒川左岸交流公園の実施への参画、エコ20指標の啓蒙のため温泉地に見合った「温泉のまちのエコ指標 技術フォーラム」の開催を推進します。

ホテル都市分科会 17年度からの継続テーマ「ホテルの安全性」の研究を部位毎にメーカーに参加いただき、その成果を機関誌に発表いたします。

インテリア分科会 保存したい(残したい・大切にしたい)インテリアの調査、文化・技術の継承、室内空間の安全面からインテリアを考えていきます。

メルキュールホテル銀座東京施設見学会 報告

このホテルは事務所ビルをコンバージョンした宿泊特化型のホテルで、企画・運営はフランスのアコーグループが当たっています。2月8日(水)建築部会主催でその施設見学会が催され50名の参加を得ました。

セミナーではアコージャパンの諸井文雄社長他から「アコーグループの紹介」「コンバージョンのプロセス」「営業状況」等について説明と活発な質疑が行われました。その後ホテルの見学と懇親会が催され参加会員相互の親睦が図られました。セミナーは大変興味深い内容で好評でした。

「美しい景観を創る会」異分野連携セミナー ご案内

美しい景観を創る会主催の異分野の専門家による連携セミナーが、昨年から6回開催されています。

今回は最後ですのでぜひご参加ください。

日時 4月21日(金)14時~17時
場所 すまい・るホール(最寄駅 JR 水道橋徒歩3分)
テーマ もりとまちく日本人は森を育てられるか>
講師 伊藤 滋:都市計画・早稲田大学特命教授
榛木純一:農林・地方自治・前掛川市長
会費 一人3,000円
申込 FAX 03-3501-6855(当日直接参加可)

年会費早期お振込みのお願い

4月1日付で、平成18年度の年会費「請求書」を送らせていただきました。早めにお振込みくださいますようお願いいたします。

なお、振込み料金は各自でご負担ください。

三展合同展示会 2006 報告

3月14日から17日まで行なわれたホテルズ2006ほかフードケータリングショー、FOODEX JAPANによる三展合同展が東京ビッグサイトで開催され、盛況の内に無事終了いたしました。

今回は出展社数858社、来場者数93,898名でした。当協会はキャッチフレーズを「MOTTAINAI」とし、いろいろなMOTTAINAIの事例や旅館のエコ20指標についてのパネル展示をしました。恒例の設備の無料相談コーナーも開設し、11件の相談がありました。

エコ対策のセミナー「エコに無関心な旅館・ホテルは世間から見捨てられる」は83名の参加者があり大変盛況でした。

「旅フェア2006」開催の紹介

地域の魅力や美味しい味覚、観光関係企業・団体が集結する「旅の総合見本市」である「旅フェア2006」が4月21日(金)~23日(日)<10~18時>に幕張メッセで開催されます。

季節もよろしい折、お誘いあわせのうえ、ぜひお出かけください。

入場料は今年から一人500円になりました。

お問合せは旅フェア委員会事務局<日観協内>

TEL 03-3276-2318 FAX 03-3276-2328

新入会員紹介

【設計】株式会社 エーアンドエム

(代表者)代表取締役 はやし まりこ
〒272-0025 千葉県市川市大和田4-16-3
TEL0473-77-3031 FAX0473-77-3077
業務内容: ホテル等のアートワークプラン

【メーカー】シーアイ化成 株式会社

(代表者)東京建装資材部長 (担当者)東京建装資材部 チーム長
谷守 俊哉 田口 浩之
〒104-8321 東京都中央区京橋1-18-1
八重洲宝町ビル7階
TEL03-3535-4585 FAX03-3535-4592
業務内容: 合成樹脂製品・磁性材料・マクモータの製造・販売

【個人】藏田 寛

〒213-0015 川崎市高津区梶ヶ谷2-1-2-304
TEL044-865-9633

♥編集後記♥(もう一つのニュース)

公益法人改革に伴う法人に関する法律が、全面的に変ろうとしています。予定では、現在開かれている通常国会で新法が通過し2年後に施行されます。現在の公益法人も新しい制度の法人に生れ変わることにありますが、移行のために5年間の準備期間を設けることになっています。先のことになりますが、今年は大きな変革が始まる元年になることは間違いがなく、昭和32年の設立以来初めて経験する新たな改革に、気持ちが引締まる思いがしています。

詳しい経緯等については、検索して「行政改革推進事務局」のホームページをご覧ください。 Y.K